

Frederic Chopin



シ ョ パ ー ン

文 部 省 検 定 済

昭和五年十一月十四日 高等女學校音樂科用

高等女學校
音樂教科書

山 本 壽 共 編
渡 邊 彌 藏

4

東京・寶文館・大阪

春の夜

Gio Battista Bassani

Moderato

Recitativo.



(一) クモナキハルノツキノ
(二) あやなきはるのやみの

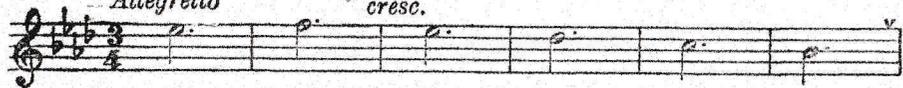


ヨクモナキハルノツキノヨアハレア
よあやなきはるのやみのよあはれい



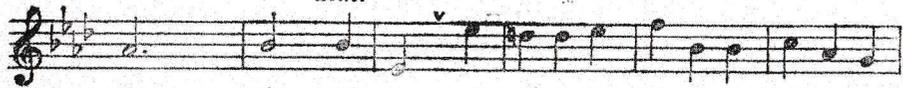
サキミツニハサエダマバラニウメーノハナ
みはみえねごかやはかくるうめーのハナ

Allegretto cresc.



カギモスカロク
こぎもすかろくの

dim.



ウカビテタダヨフカラリイトモ
まごもねやにもぎよきかをり

mf



キヨシアハレハルノツキノヨ
みちてあはれはるのやみのよ

cresc. poco a poco.



シヘノカラウタトハニ
びこのよきうたとはに

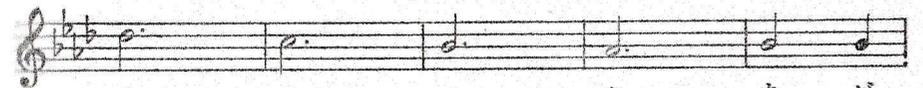


トハニカラルヨツノナ
こはにかるよそのな

春の夜 (二)



モカゲモ
もかぎもす



カロクウカビ
ふまのまご



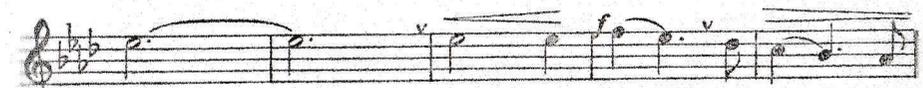
テタダヨフカラリイトモキヨシ
もねやにもぎよきかをりみちて



アハレハルノツキノヨ
あはれはるのやみのよ



シヘノカラウタトハ
びこのよきうたとは



ニトハニカラル
にとはにかる



ヨソノナモアア
よそのなもああ

春の夜

犬童球溪

(一) 雲なき春の月の夜

雲なき春の月の夜

あはれ 浅き水には

小枝まばらに梅の花

(復唱)『かげも軽く浮びて

漂ふ香 いたも清し。

あはれ 春の月の夜

いにしへのから歌

永久に永久に 薫るよ其名も』(第二回)あゝ。

(二) あやなき春の闇の夜

あやなき春の闇の夜

あはれ 色は見えねど

香やはかくるゝ梅の花

(復唱)『閉ざす書ひらの窓も

闇にも清き薫満ちて

あはれ 春の闇の夜

古人の佳き和歌

永久に永久に 薫るよ其名も』(第二回)あゝ。

緑の雨

犬童球溪

(第一部)

青柳の絲の如

み空をあやに織りて

そそぐ雨うれし

緑の山に野邊に。

(三部合唱)

みどりの雨しめやかに

(第一部) このよ きよく洗ふ

(第二部) このよをば きよく洗ふ

(第三部) このよ このよ きよく洗ふ。

心地よき夏の雨

心地よの夏の雨や』

(第二部)

落つる雫しずくなして

木々の葉末かざる

見よ見よ清けき

その眞玉を。(三部合唱に返る)

(第三部)

遠き山より山に懸くる

七色の虹の橋

み神のしわざか

いといと麗し。(三部合唱に返る)

文 部 省 檢 定 済

昭和五年十一月十四日 高等女學校音樂科用

昭和四年九月二十五日印刷
昭和四年九月二十八日發行
昭和五年十一月一日訂正再版印刷
昭和五年十一月四日訂正再版發行

不	複	
許	製	

高等女學校音樂教科書

卷 號	定 價	昭和六年度臨時定價
1	金 參 拾 四 錢	金 五 拾 四 錢
2	金 參 拾 四 錢	金 五 拾 四 錢
3	金 參 拾 參 錢	金 五 拾 貳 錢
4	金 參 拾 五 錢	金 五 拾 五 錢
5	金 參 拾 六 錢	金 五 拾 七 錢

編 者 山 本 壽 藏
渡 邊 彌

發 行 者 大 葉 久 吉
東京市日本橋區本銀町三丁目十四番地

發 行 兼 者 柏 佐 一 郎
印 刷 者
大阪市西區阿波堀通四丁目二十番地ノ一

發 兌

大阪市西區阿波堀通四丁目 株式 大阪寶文館
神戶市元町通五丁目 會社
小倉市京町一丁目

東京市日本橋區本銀町三 株式 寶 文 館
會社